

令和3年度第3回 長野市廃棄物減量等推進審議会 議事録【要旨】

【開催概要】

開催日時：令和3年10月25日（月）午後2時から3時まで

開催場所：職員会館3階 ホール

【次第】

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 環境部長あいさつ
- 4 議 事
 - (1) 一般廃棄物（ごみ）処理手数料の見直しについて
 - (2) 長野市一般廃棄物処理基本計画（素案）について
- 5 その他
- 6 閉 会

【会議資料】

- ・資料1 一般廃棄物（ごみ）処理手数料の見直しについて
- ・資料2 一般廃棄物（ごみ）処理手数料の見直しについて（答申）（案）
- ・資料3 長野市一般廃棄物処理基本計画（素案）について
- ・資料4 長野市一般廃棄物処理基本計画（概要版）
- ・資料5 長野市一般廃棄物処理基本計画（本編）
- ・長野市廃棄物減量等推進審議会名簿

【出席委員】 12名

【欠席委員】 3名

【事務局】 9名

【報道・傍聴者】 0名

【会議内容（要旨）】

1 開 会

- ・会議の成立と公開について報告（事務局）

2 会長あいさつ

審議会の開催に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

本日はお忙しい中、お集まりいただき感謝申し上げます。

ようやく新型コロナウイルスも落ち着きを見せ、警戒レベルが下がり、学生達も徐々に学校に戻ってくる状況になっている。

安心できる状況になりつつあるが、引き続き、委員の皆さまには換気や消毒な

どの対策と、本審議会での感染予防についてご理解とご協力をお願いします。

本日は、ごみ処理手数料と長野市一般廃棄物処理基本計画について審議する予定。

ごみ処理手数料については、市長へ答申するための答申書を確認したいと思う。

長野市一般廃棄物処理基本計画については、市でパブリックコメントを行う準備をしている。本日は、パブリックコメントを行う段階の計画書の確認をお願いしたいと思う。また、前回宿題となっていた、ごみ処理基本計画・食品ロス削減推進計画の基本理念についても皆さんで考えたいと思う。

どうぞよろしくをお願いします。

3 環境部長あいさつ

審議会開催に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

本日は、前回に引き続きごみ処理手数料並びに長野市一般廃棄物処理基本計画についてご審議いただく。

いずれの案件についても最終段階の審議となった。長い間ご尽力いただき誠に感謝申し上げます。

また、本日は今年最後の審議会となる予定。委員の任期が11月28日で満了となることから、本日が最後の審議会となる方もいらっしゃる。これまで大変お世話になり、重ねて感謝申し上げます。

任期が終了しても、今後も本市の廃棄物行政に忌憚のないご意見をいただきたいと思う。

本日は、委員の皆さまの幅広い見識の中から、ご意見をいただければと思う。どうぞよろしくようお願い申し上げます。

4 議 事

(1) 一般廃棄物（ごみ）処理手数料の見直しについて

◇資料1「一般廃棄物（ごみ）処理手数料の見直しについて」により説明（事務局）

（会長） 何かご質問等ありましたらお出しいただきたい。

<以下、質疑応答>

（河村委員）資料1シート5の表記がわかりにくい。不燃ごみは50%相当額と書いてあるが、資源物には25%と書いていないので、追記した方がよいと思う。また、「資源物は分別の促進を図る観点から」とあるが、ニュアンスが少し伝わりにくい気がするため、検討して欲しい。

◇質疑終了後、資料2「一般廃棄物（ごみ）処理手数料の見直しについて（答申）」の答申書案を配布、説明（事務局）

◇意見等ないため、答申書案により市長へ答申することを決定。

答申の日程は、令和3年10月27日(水)、正副会長で市長へ答申することとする。

(2) 長野市一般廃棄物処理基本計画(素案)について

◇資料3「長野市一般廃棄物処理基本計画(素案)について」、資料4「長野市一般廃棄物処理基本計画(概要版)」により説明(事務局)

また、ごみ処理基本計画・食品ロス削減推進計画の基本理念について事務局案を説明

(会長) 何かご質問等ありましたらお出しいただきたい。また、基本理念の案についてもご意見をいただきたい。なお、基本理念については、事務局から相談を受け、本学の学生に「減らそうね、その一口がながのを救う」と発案してもらった。

<以下、質疑応答>

(竹重委員) 現在の計画の基本理念を踏襲しつつ、副題を「減らそうね、その一口がながのを救う」としてはいかがか。現在の計画の「ごみの減量に取り組み、資源が循環するやさしいまち」は簡潔にまとまっているため、その副題のみ変更すれば良いのではないか。

(高橋委員) 「ながの」という言葉は入れた方がいいと思う。

(河西委員) 「つなげる」と言うのが大事だと思う。「地産地消」イメージもどこかに盛り込めると良い。

(小木曾会長) 「地産地消」は「資源が循環」と言うところで読み取れると思う。

(笠原委員) SDGs みたいな言葉が入ってくると、より将来のイメージが強くなると思う。令和8年度ではなく、もっと将来のことを見据えた共感する言葉が入ると良い。

(竹重委員) 「減らそうね、その一口が」の「その一口が」と言うのを河西委員の意見を踏まえると、「ごみの減量に取り組み、資源が循環するやさしいまち～減らそうね、地産地消がながのを救う～」としてはいかがか。

(河西委員) 「その一口が」と言うのがいろいろな意味がある。

(水野委員) 基本計画と「地産地消」は結び付かないのでは。また、「その一口」と言うのが気になる。食べている一口なのか、イメージする範囲が広すぎると思う。もっと良い言葉があれば置き換えても良いと思う。

(河西委員) 「地産地消」は、いわゆる食のループをイメージしたもの。それが食品ロス削減につながる、つまり食べ物は資源だと言うことが考えられるため。長野市は、川があり山があり自然豊かな場所であるから、循環型農業がしやすいと言う意味を込めた。

(山本委員) 「減らそうね、〇〇がながのを救う」となると、「私たち」と言う言

葉が入るのではと思う。また、「一口」と言うのは、いろいろ意味があるのでどうかなと思う。

(河西委員)「減らそうね、食品ロス」とした方が分かりやすいと思う。食品ロス削減推進計画であるので。

(宮入委員)「減らそうね、その一口」となると、食べるのを控えなければならないと思った。何を減らすのかを入れなければならないと思う。「ごみ減量」でもいいかと思ったが、河西委員の「食品ロス」でも良いと思う。短くてインパクトのある言葉が入れば良いと思う。

(笠原委員) 私はそのものズバリよりも少し疑問がわく言葉の方が頭に入りやすいと思う。例えば、ポスターなどに「ごみの減量」と書いてあってもただ見るだけで頭に入らない。もう少し考えさせる文章があると頭に残ると思う。

(河村委員)「一口」と言うところがパッと思いつかなかった。皆さんがおっしゃるように、「一口」だと無理して食べるのか残すのかで逆の意味になる。「もったいない」という言葉を使うのはどうか。

(小木曾会長) いろいろな意見が出たが、事務局でまとめてもらい、正副会長と協議の上、決定するというで一任いただければと思う。

5 その他

基本理念について、たくさんの意見感謝申し上げます。事務局で意見をまとめ、正副会長と相談し、決定させていただく。

本日の議事録は、事務局でまとめたものをお送りし、承認後に公開したい。簡単な日時や概要等をまとめた簡易的な開催結果と本日の資料は、別途ホームページで公開させていただく。(事務局)

6 閉会